

## タシギ（シギ科） 全長26センチ

大仙市内に毎年決まった季節、決まった場所に飛来する渡り鳥がいる。長いクチバシを持ち、素早いスピードで飛ぶタシギです。

飛来するのは大曲バイパス近くの田んぼ。ここは旧国道に挟まれ決して静かな環境とは言えません。

今年は3月28日に地元のS氏が7羽を見つけました。昨年より2日早いそうです。案内された田んぼは湿った土で、稲の切り株とも黒っぽい褐色です。

あそこにいると指さされても、タシギの模様が土の色とよく似ているので動かなければ分かりません。直ぐ隣の乾燥している田んぼには、なぜかタシギは1羽もいません。自分の体の色と似た環境にいることが天敵に見つかりにくいので、安全なのでしょう。究極の保護色です。



クチバシを背中に刺し込み、じっと動きません。

暫くするとやっと動き出しました。

歩きながら土にクチバシを差し込み、餌をさがしているようだ。S氏によると毎年1ヵ月ほど滞在し、北の繁殖地シベリア方面に渡っていくそうです。



長いクチバシです。



羽ばたいてくれました。

東南アジアなどの越冬地から、遠い北の繁殖地へ向かう旅の途中に立ち寄った大曲。  
これからも続けてほしいと願っています。



3羽が畦道に上がって来た。



この田んぼにいるようだが、簡単には見つかりませんでした。